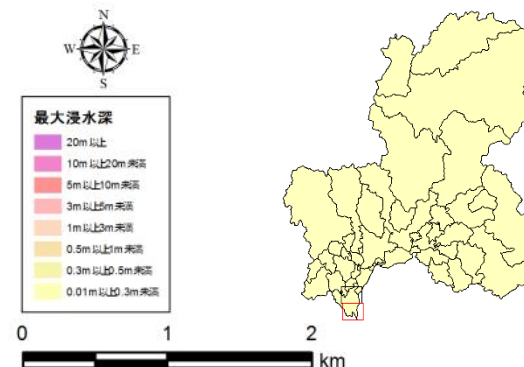
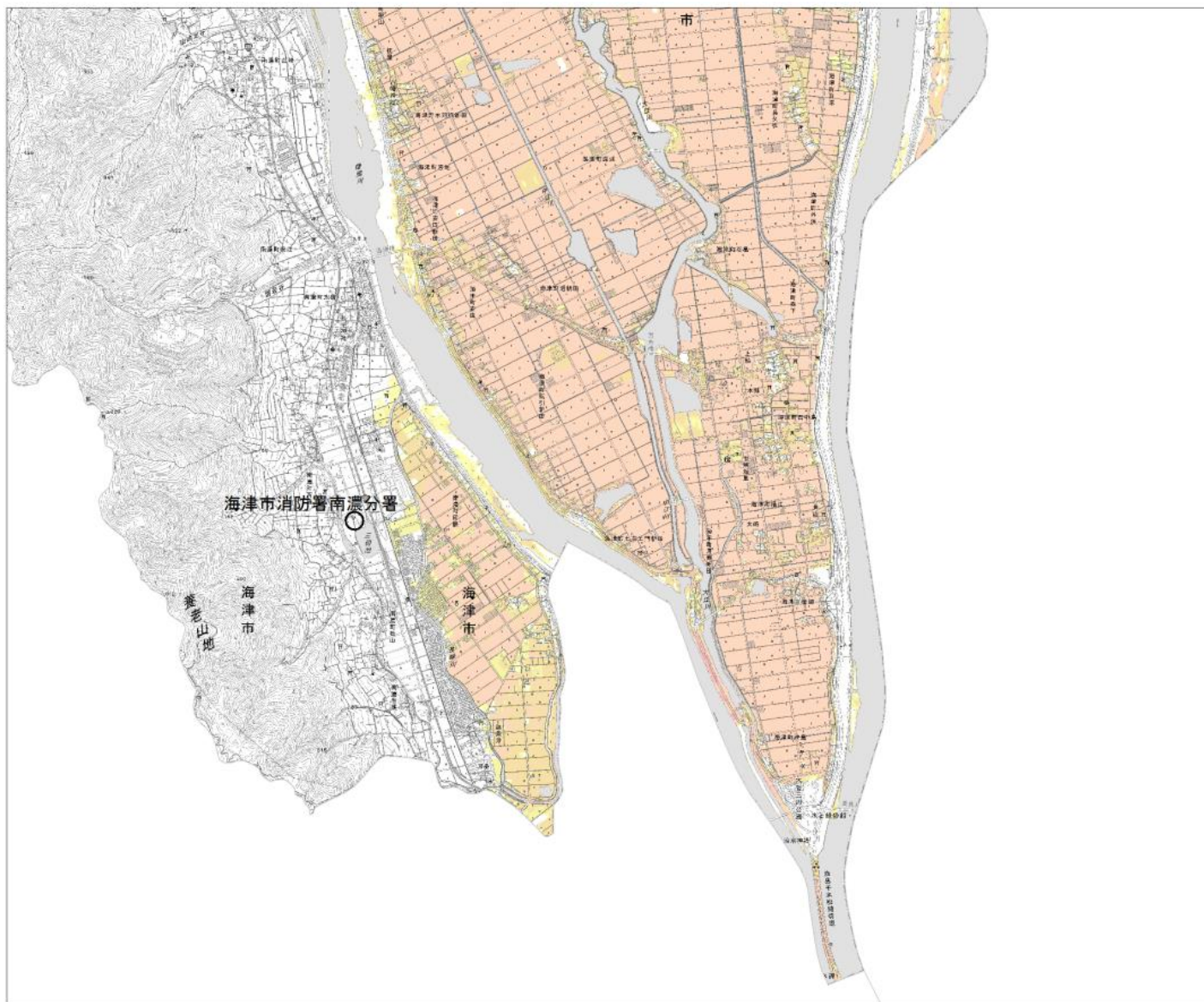


岐阜県津波浸水想定

この図郭に含まれる市町村：海津市



- 【留意事項】**
- この図に関する詳細な説明については、「津波浸水想定について(解説)」をご参照ください。
 - 津波浸水想定は、「津波防災地域づくりに関する法律(平成23年法律第123号)」第8条第1項に基づいて設定するもので、津波防災地域づくりを実施するための基礎となるものです。
 - 津波浸水想定は、最大クラスの津波が河川堤防が沈下する等の悪条件下において発生した場合に想定される浸水域と浸水深を示しています。
 - 津波浸水想定は、避難を中心とした津波防災地域づくりを進めるためのものであり、津波による災害や被害の発生範囲を決定するものではありません。また、一定の条件を設定し計算した結果のため、着色されていない区域が必ずしも安全というわけではありません。
 - 最大クラスの津波は、現在の科学的知見に基づき、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
 - 津波浸水想定では、シミュレーションで再現しきれない局所的な地盤の凹凸や構造物の影響のほか、地震による地盤変動や構造物の変状等に関する計算条件との差異により、浸水域以外での浸水の発生や、浸水深が大きくなる場合があります。
 - 津波は、第1波だけで終わるものではありません。何度も繰り返して来ます。また、第2波以降が大きくなることもあります。
 - 岐阜県西部の濃尾平野は海抜ゼロメートル地帯が広がり地盤高の低い地域です。地震により河川堤防が75%沈下した場合、津波の来襲に先行して河川水により浸水することも考えられます。津波が収束した後でも、河川水の流入により浸水範囲が広がる可能性があります。また、地盤沈下、液状化等により、長期間にわたって湛水することがあります。
- 【用語の説明】**
- 津波浸水想定における各種高さ：図-1参照
 - 浸水域：河川堤防から陸域に津波が浸水することが想定される区域
 - 浸水深：陸上の各地点で水面が最も高い位置に来たときの地面から水面までの高さ。

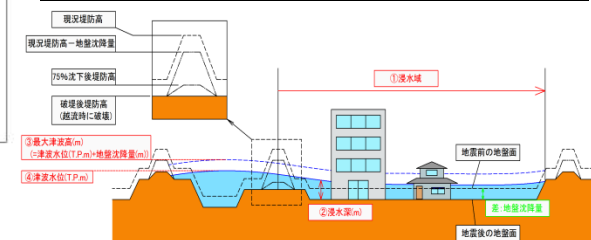


図-1 各種高さの模式図

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 25000 を複製したものである。(承認番号 平 28 情複、第 1173 号)